スタートガイド
BtoB プラットフォーム請求書 連携編

こちらの資料では invox 受取請求書と BtoB プラットフォーム請求書を組み合わせて
ご利用いただく場合の基本的な流れと操作方法についてご説明します。

CONFIDENCIAL

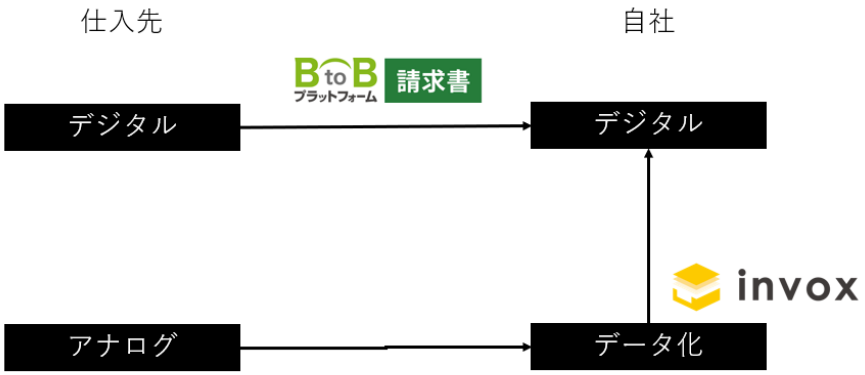
目次

1. 概要 3
2. invox と BtoB プラットフォーム請求書の連携内容 4
- BtoB プラットフォーム請求書と invox のデータの対応 4
- invox から BtoB プラットフォーム請求書へ連携できるデータ 6
- BtoB プラットフォーム請求書から invox へ連携できるデータ 7
- invox から BtoB プラットフォーム請求書への請求書データの連携内容 8
- invox から BtoB プラットフォーム請求書への仕入先マスタの連携内容 15
- BtoB プラットフォーム請求書から invox への仕入先マスタの連携内容 17
- BtoB プラットフォーム請求書から invox への勘定科目マスタの連携内容 18
- BtoB プラットフォーム請求書から invox への補助科目マスタの連携内容 19
- BtoB プラットフォーム請求書から invox への部門マスタの連携内容 19
3. 初期設定 20
- 出力設定 20
- BtoB プラットフォーム請求書 API 設定 22
- BtoB プラットフォーム請求書からのマスタ連携 24
- アップロード設定 25
- 支払予定日の自動計算設定 26
- デフォルト仕訳設定 27
4. BtoB プラットフォーム請求書への請求書データの連携 28
- invox からの請求書データの送信 28
- 出力履歴の削除 29
5. BtoB プラットフォーム請求書への仕入先マスタの連携 30
6. 問題への対処 31
7. 特別導入サポートパック 31

CONFIDENCIAL

1. 概要

BtoB プラットフォーム請求書と invox を組み合わせてご利用いただくと、PDF や紙で届いた請求書を invox でデータ化し、結果を自社作成請求書データとして BtoB プラットフォーム請求書へ連携することができます。
これにより、全ての請求書を BtoB プラットフォーム請求書上で効率的に処理する事が出来ます。



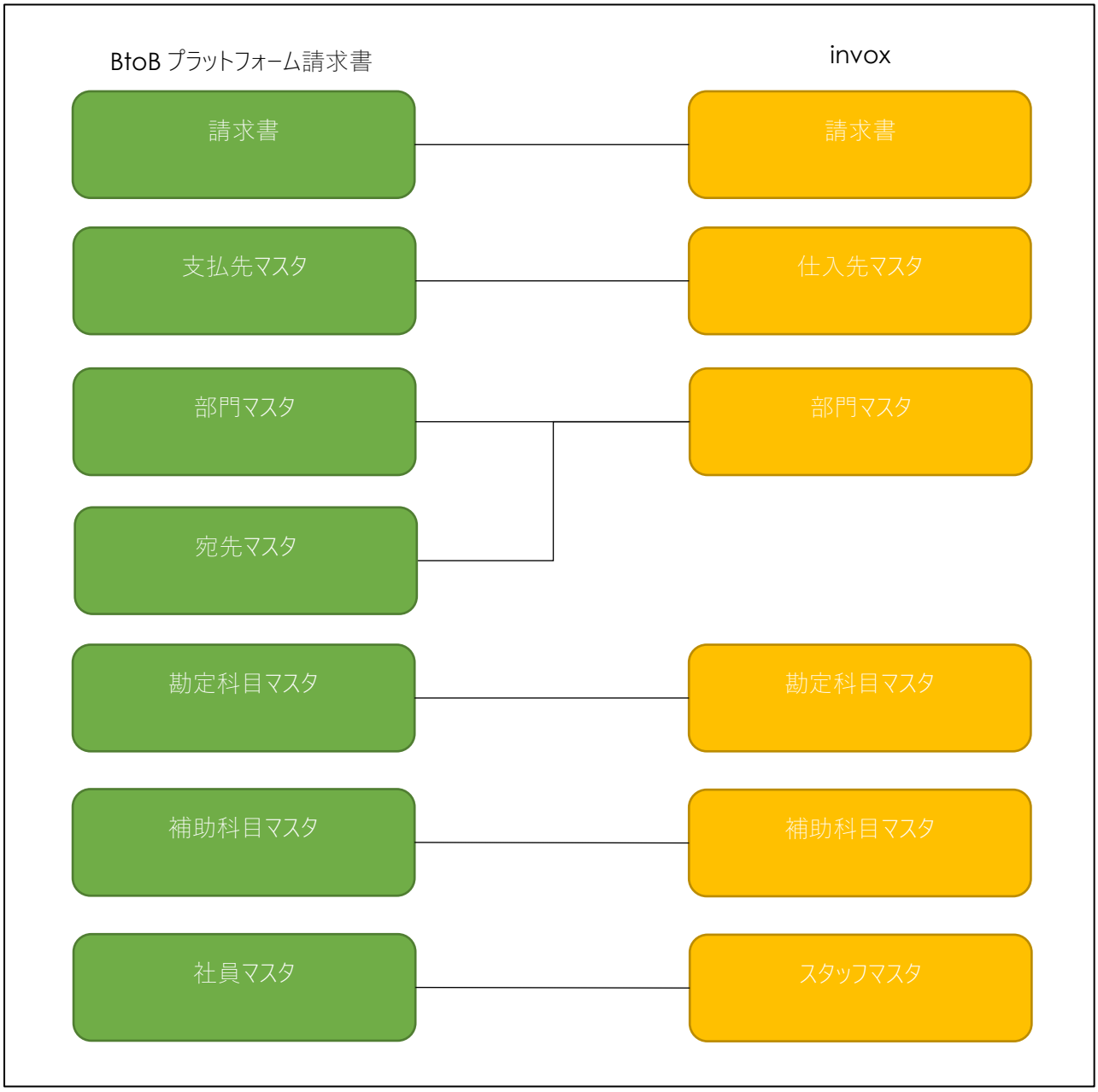
BtoB プラットフォーム請求書連携をご利用の方向けに導入サポートパックを 50%OFF の特別価格でご提供しております。詳細は「特別導入サポートパック」をご覧ください。

CONFIDENCIAL

2. invox と BtoB プラットフォーム請求書の連携内容

● BtoB プラットフォーム請求書と invox のデータの対応

BtoB プラットフォーム請求書と invox のデータの対応は次の通りです。



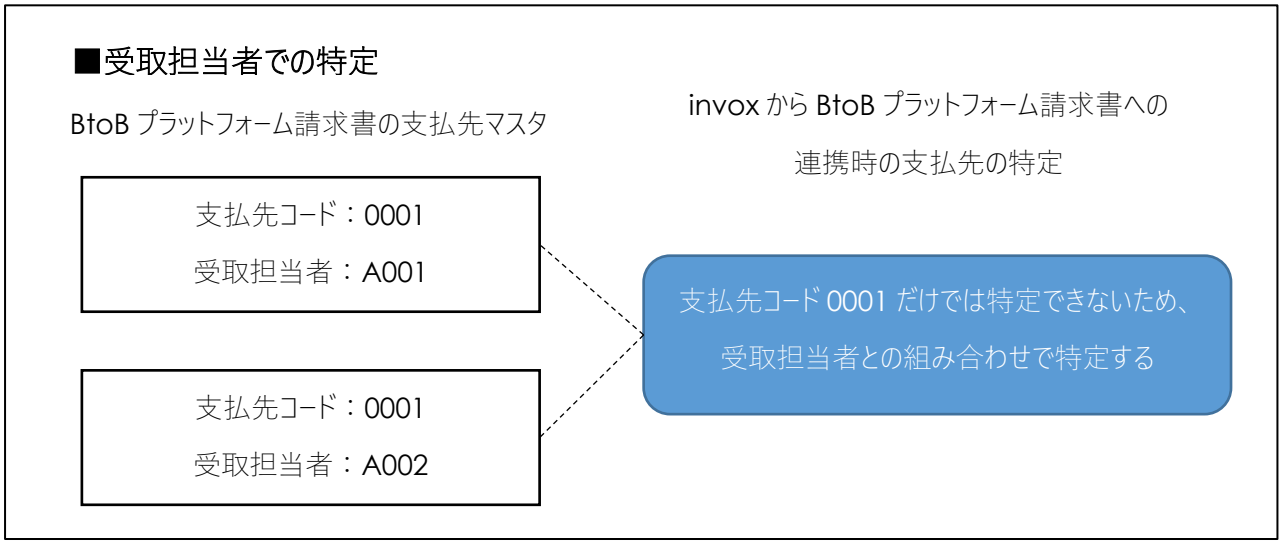
BtoB プラットフォーム請求書では、同一の支払先コードの支払先マスタを複数登録することができます。

これに対し、invox では 1 つの仕入先コードの仕入先マスタは 1 つになるように登録してください。

BtoB プラットフォーム請求書で、同一の支払先コードの支払先マスタを複数登録している場合、invox から BtoB プラットフォーム請求書への請求書データ連携の際に、コードだけでは紐づける支払先を特定できないため、受取担当者また

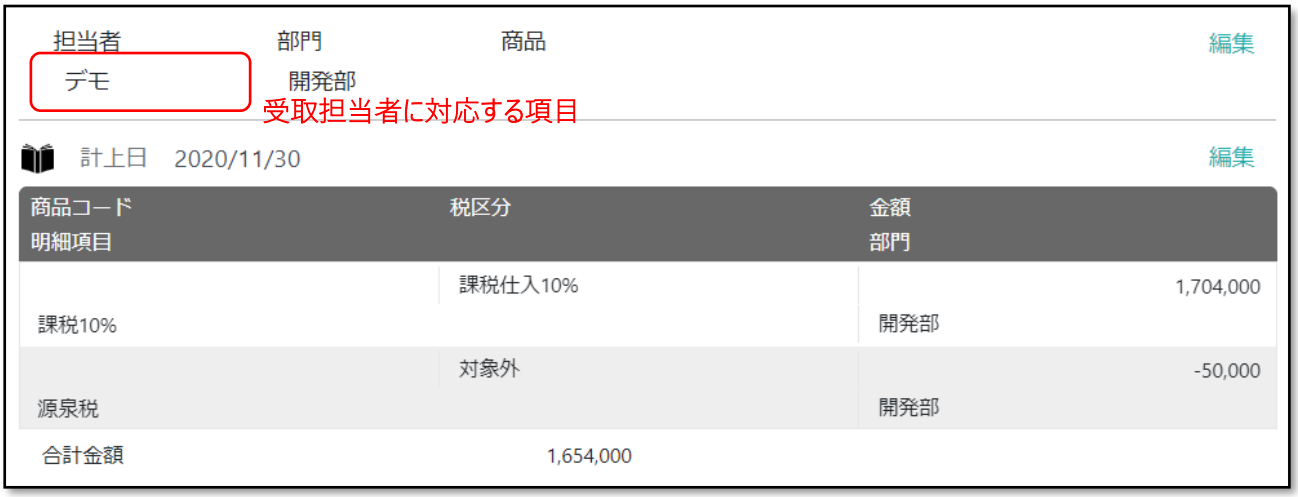
CONFIDENCIAL

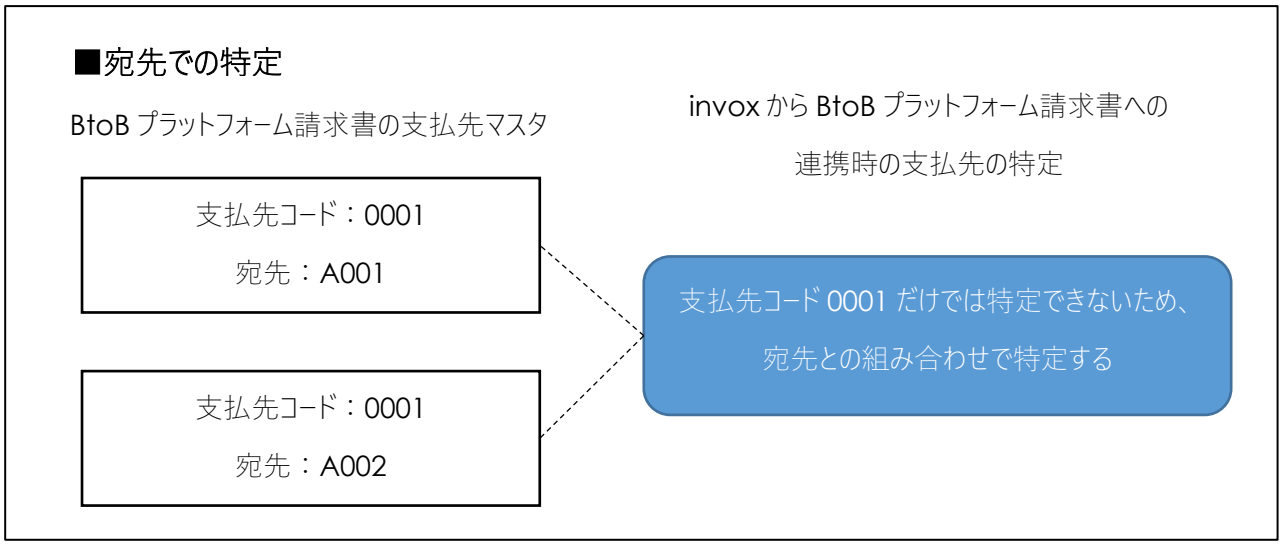
は宛先を使用して特定します。



invox の請求書画面の、BtoB プラットフォーム請求書の受取担当者に対応する項目は下図の通りです。

invox のスタッフのコードと、BtoB プラットフォーム請求書の受取担当者の社員番号が対応します。





CONFIDENCIAL

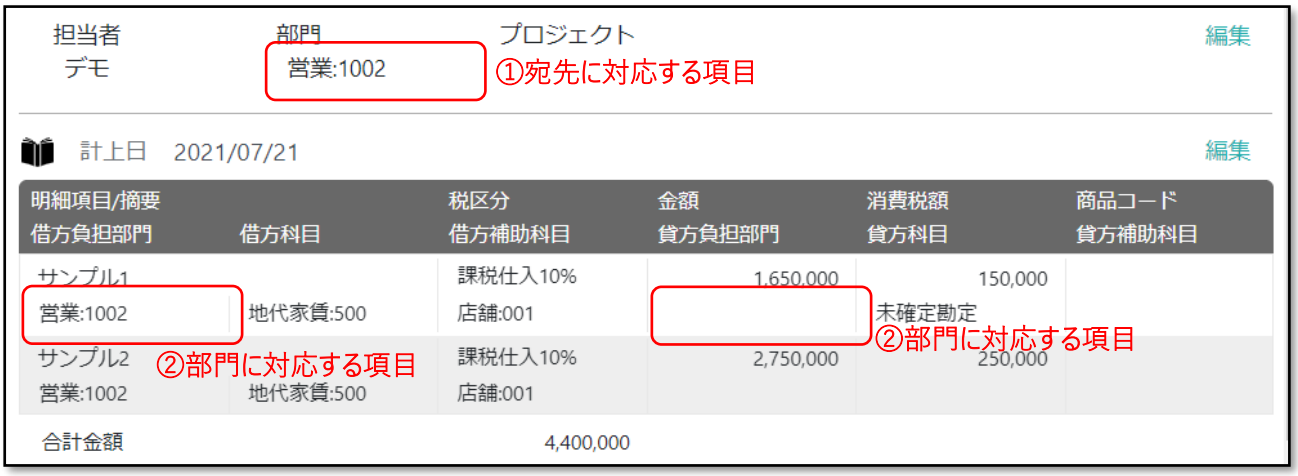
invox の請求書画面の部門と、BtoB プラットフォーム請求書の部門・宛先との対応は下図の通りです。

BtoB プラットフォーム請求書の宛先に対応する項目（①）には、BtoB プラットフォーム請求書の宛先に対応する部門を指定する必要があります。

同様に BtoB プラットフォーム請求書の部門に対応する項目（②）には、BtoB プラットフォーム請求書の部門に対応する部門を指定する必要があります。

仕訳連携なし

仕訳連携あり



● invox から BtoB プラットフォーム請求書へ連携できるデータ

invox から BtoB プラットフォーム請求書に次のデータを連携することができます。

- 請求書データ

  invox でデータ化した請求書データを、API で自社作成請求書として連携することができます。

CONFIDENCIAL

設定により、仕訳情報を連携するかどうかを切り替えることができます。

仕訳情報は明細形式にのみ対応しており、集計・配賦形式には対応していません。

- 仕入先マスタ

  invox に登録された仕入先マスタを、API で支払先マスタに連携することができます。

BtoB プラットフォーム請求書から invox へ連携できるデータ

BtoB プラットフォーム請求書から invox に次のデータを連携することができます。

- 仕入先マスタ

  BtoB プラットフォーム請求書に登録されている支払先マスタを、仕入先マスタに API で連携することができます。

  招待済み、かつ支払先コードが設定されている支払先マスタのみが連携対象となります。

- 勘定科目・補助科目マスタ

  BtoB プラットフォーム請求書に登録されている勘定科目・補助科目マスタを、API で連携することができます。

- 部門マスタ

  BtoB プラットフォーム請求書に登録されている部門マスタを、API で連携することができます。

CONFIDENCIAL

● invox から BtoB プラットフォーム請求書への請求書データの連携内容

invox から BtoB プラットフォーム請求書へ、自社作成請求書データとして連携可能な項目は下記となります。

請求書のおもて情報の連携項目

請　求　書

請求先	請求元（支払先コード：123456789）	
〒000-0000 東京都千代田区 1－1－1 TEL：03-0000-0000 株式会社invox連携テスト2　御中	〒222-0000 神奈川県横浜市港北区 テストビル MY株式会社	請求書発行日　2025年1月17日(金) 請求書番号 締日　2025年1月6日(月) 支払期限　2025年1月31日(金)

請求金額　49,895 円

件名：

※BtoBプラットフォーム 請求書では、請求書送付者のID及び履歴情報保管により、信頼性が担保されています。

前回請求金額	入金額	調整金額	繰越金額	今回請求金額(税抜)	今回消費税額	今回請求金額(税込)
0	0	0		44,895	5,000	49,895

10%対象(税抜)	50,000	消費税額	5,000	請求金額(税込)	55,000
不課税対象(税抜)	-5,105	消費税額	0	請求金額(税込)	-5,105

支払方法	銀行振込
振込先	(0001)ﾐｽﾞﾎ (091)ﾖｺﾊﾏﾎｳｼﾞﾝ 普通預金 9876665 ｴﾑﾜｲ 自社設定口座
備考	IR8880883222 https://development-web.invox.jp/invoice/46518

BtoB プラットフォーム請求書の画面項目	連携される invox のデータ
支払先コード	請求書の仕入先のコード
請求書発行日	連携を実行した日
請求書番号	請求書の請求番号 ※請求番号を読み取り対象とする必要がある ※半角 20 文字を超える文字列は切られる
締日	請求書の請求日
支払期限	請求書の支払予定日
請求金額	請求書の請求金額

CONFIDENCIAL

件名	請求書の件名 ※invox で件名を読み取り対象とする必要がある ※半角 80 文字を超える文字列は切られる ※BtoB での取込時に次の文字は除去される %^*()'[]<>'',
今回請求金額（税抜）	請求書の請求金額の税抜額
今回消費税額	請求書の請求金額の税額
今回請求金額（税込）	請求書の請求金額
10%請求金額（税抜）	請求書の課税 10%の税抜額
10%消費税額	請求書の課税 10%の税額
10%請求金額（税込）	請求書の課税 10%の税込額
軽減 8%請求金額（税抜）	請求書の課税 8%の税抜額
軽減 8%消費税額	請求書の課税 8%の税額
軽減 8%請求金額（税込）	請求書の課税 8%の税込額
非課税請求金額（税抜）	請求書の非課税額
非課税消費税額	0
非課税請求金額（税込）	請求書の非課税額
不課税請求金額（税抜）	請求書の不課税額から源泉徴収税額を引いた額
不課税消費税額	0
不課税請求金額（税込）	請求書の不課税額から源泉徴収税額を引いた額
支払方法	請求書の支払方法
振込先口座	請求書の振込先口座 ※口座番号の半角 7 文字を超える文字列は切られる ※預金者名の半角 30 文字を超える文字列は切られる

CONFIDENCIAL

備考	請求書の請求 ID／invox で当該請求書を開くための URL／請求書のメモ ※半角 1000 文字を超える文字列は切られる
添付ファイル	invox にアップロードされた請求書の PDF ファイル ※ファイルサイズが 20MB を超える場合は連携されない
請求書保存形式	固定で「フリーフォーマット」
課税単位	固定で「明細単位」
事業者区分	仕入先マスタの「課税／免税事業者」
事業者登録番号	請求データの登録番号 ※請求データ連携時の登録番号が BtoB プラットフォーム請求書の支払先マスタに反映されます

CONFIDENCIAL

請求書の明細情報の連携項目

明細日付 / 明細番号	明細項目	単価 / 部門	数量	単位	金額 / 備考	消費税額	請求金額
メモ1			メモ2				
1	テスト 摘要1	22,852 / (1003)マーケティング	1		22,852	798	23,650 (課税 10%)
2	テスト 摘要2	23,650 / (1001)開発部	1		23,650	0	23,650 (非課税)
3	テスト 摘要3	21,899 / (1004)経営管理	1		21,899	1,751	23,650 (課税 軽減8%)
4	テスト 摘要4	21,899 / (1003)マーケティング	1		21,899	1,751	23,650 (課税 8%)

BtoB プラットフォーム請求書の画面項目	連携される invox のデータ
明細項目	請求明細欄の明細項目（仕訳連携ありの場合は明細項目/摘要） 「出力設定」で部門を付けて出力する設定を行った場合、部門名が先頭に追加される ※半角 50 文字を超える文字列は切られる ※BtoB での取込時に次の文字は除去される %^*()'[]<>", 請求明細欄の商品コード項目に入力した場合、明細項目の上部に表示される
単価	請求明細欄の金額と税区分から計算した税抜額
数量	固定で 1
金額	請求明細欄の金額と税区分から計算した税抜額
消費税額	請求明細欄の金額と税区分から計算した税額

CONFIDENCIAL

請求金額	請求明細欄の金額
税区分（課税／非課税／免税／不課税）	請求明細欄の税区分に応じて、課税／非課税／不課税／免税のいずれか ※invox の税区分名に「課税」が含まれていれば課税、「非課税」が含まれていれば非課税、「不課税」が含まれていれば不課税、「免税」が含まれていれば免税が連携されます
税率	請求明細欄の税区分ごとの税率（10／軽減 8／8／0 のいずれか）
部門	請求明細欄に入力した部門

CONFIDENCIAL

請求書の仕訳情報の連携項目（仕訳連携ありの場合のみ）

BtoB プラットフォーム請求書の画面項目	連携される invox のデータ
会計伝票日付	計上日
借方負担部門	請求明細欄に入力した借方負担部門
借方科目	請求明細欄の借方科目
借方補助科目	請求明細欄の借方補助科目
貸方負担部門	請求明細欄の貸方負担部門
貸方科目	請求明細欄の貸方科目
貸方補助科目	請求明細欄の貸方補助科目
摘要	請求明細欄の明細項目/摘要 ※BtoB での取込時に次の文字は除去される %^*()'[]<>'',

CONFIDENCIAL

請求書の履歴の連携項目

BtoB プラットフォーム請求書の画面項目	連携される invox のデータ
作成担当者	BtoB プラットフォーム請求書 API 設定で設定を行った BtoB プラットフォーム請求書のアカウント

CONFIDENCIAL

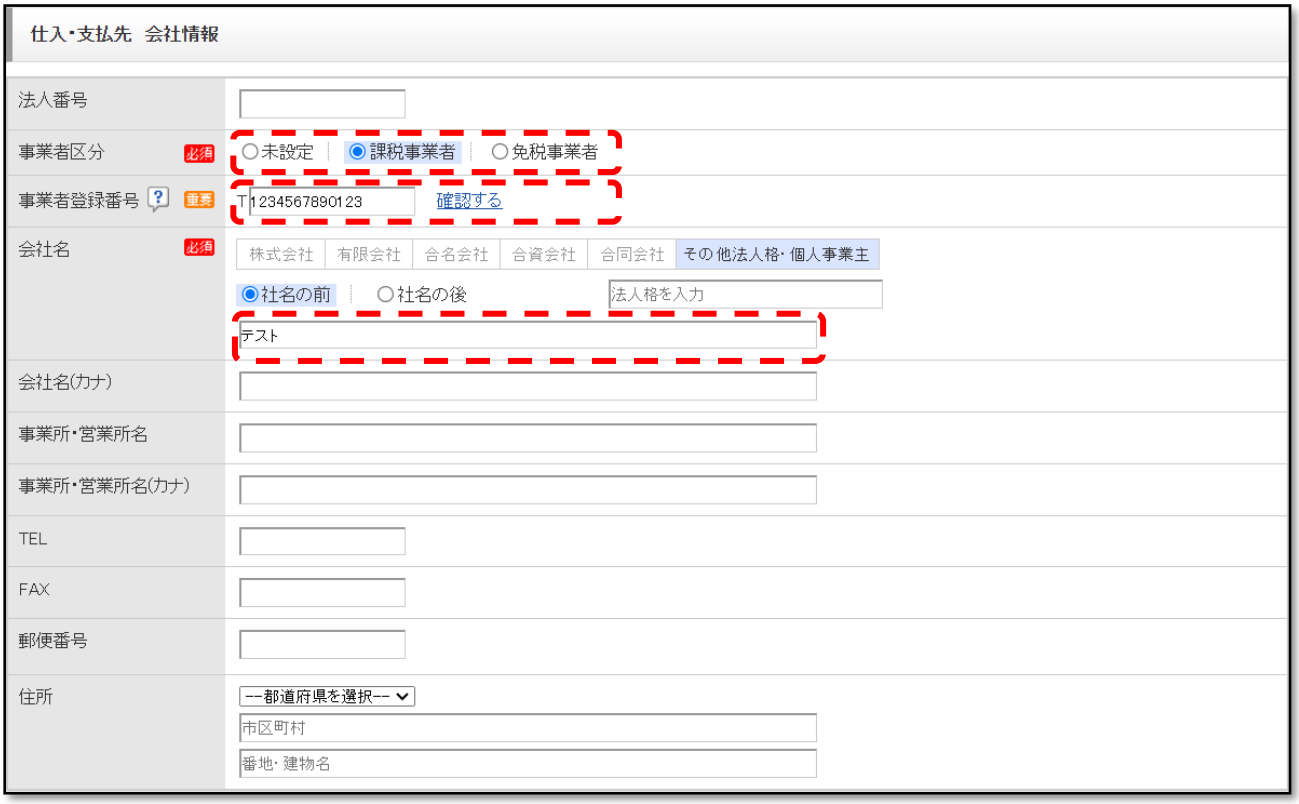
● invox から BtoB プラットフォーム請求書への仕入先マスタの連携内容

invox から BtoB プラットフォーム請求書へ、支払先マスタとして連携可能な項目は下記となります。

支払先マスタに招待済みの状態で登録されます。

宛先の設定や受取担当者の変更は BtoB プラットフォーム請求書で行ってください。

仕入先マスタの仕入・支払先　会社情報の連携項目



BtoB プラットフォーム請求書の画面項目	連携される invox のデータ
事業者区分	課税事業者／免税事業者 invox が「不明」の場合、BtoB では「未設定」になります。
事業者登録番号	登録番号
会社名	名称

CONFIDENCIAL

仕入先マスタの自社管理情報の連携項目

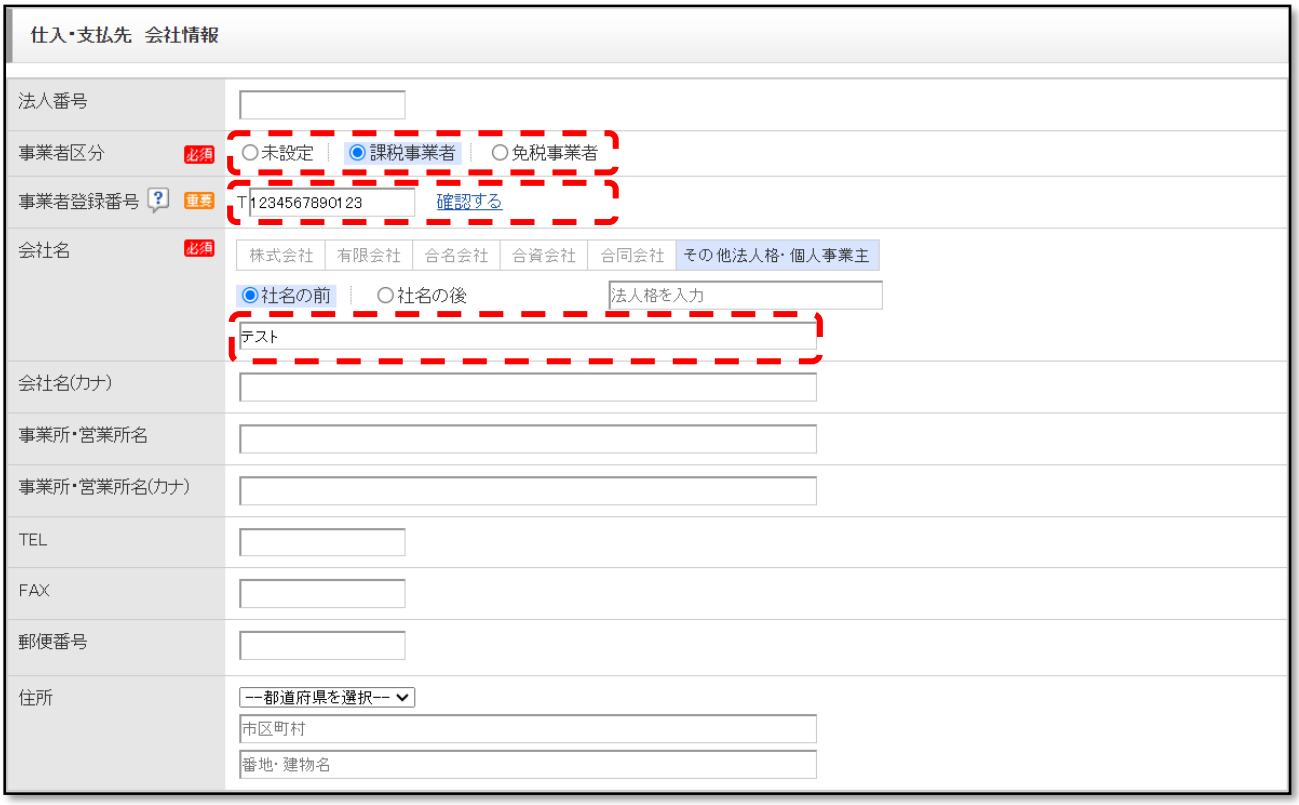
BtoB プラットフォーム請求書の画面項目	連携される invox のデータ
支払先コード	コード
受取担当者	BtoB プラットフォーム請求書 API 設定で設定を行った BtoB プラットフォーム請求書のアカウント

CONFIDENCIAL

● BtoB プラットフォーム請求書から invox への仕入先マスタの連携内容

BtoB プラットフォーム請求書から invox の仕入先マスタへ連携可能な項目は下記となります。

仕入･支払先 会社情報の連携項目



invox の仕入先マスタの画面項目	連携される BtoB プラットフォーム請求書のデータ
課税事業者／免税事業者	事業者区分 「未設定」の場合、invox では「不明」になります。
登録番号	事業者登録番号
名称	会社名

CONFIDENCIAL

自社管理情報の連携項目

invox の仕入先マスタの画面項目	連携される BtoB プラットフォーム請求書のデータ
コード	支払先コード
[支払方法] 金融機関	[振込先口座（自社設定）] 金融機関コード
[支払方法] 支店	[振込先口座（自社設定）] 支店コード
[支払方法] 口座種別	[振込先口座（自社設定）] 預金種別
[支払方法] 口座番号	[振込先口座（自社設定）] 口座番号
[支払方法] 口座名義	[振込先口座（自社設定）] 預金者名カナ

● BtoB プラットフォーム請求書から invox への勘定科目マスタの連携内容

BtoB プラットフォーム請求書から invox の勘定科目マスタへ連携可能な項目は下記となります。

invox の勘定科目マスタの画面項目	連携される BtoB プラットフォーム請求書のデータ
勘定科目名	勘定科目名
勘定科目コード	勘定科目コード

CONFIDENCIAL

● BtoB プラットフォーム請求書から invox への補助科目マスタの連携内容

BtoB プラットフォーム請求書から invox の補助科目マスタへ連携可能な項目は下記となります。

invox の補助科目マスタの画面項目	連携される BtoB プラットフォーム請求書のデータ
補助科目名	補助科目名
補助科目コード	補助科目コード

● BtoB プラットフォーム請求書から invox への部門マスタの連携内容

BtoB プラットフォーム請求書から invox の部門マスタへ連携可能な項目は下記となります。

invox の部門マスタの画面項目	連携される BtoB プラットフォーム請求書のデータ
部門名	部門名
部門コード	部門コード

CONFIDENCIAL

3. 初期設定

次の流れで設定することをお勧めします。必要に応じて、下記以外のその他の設定を行ってください。

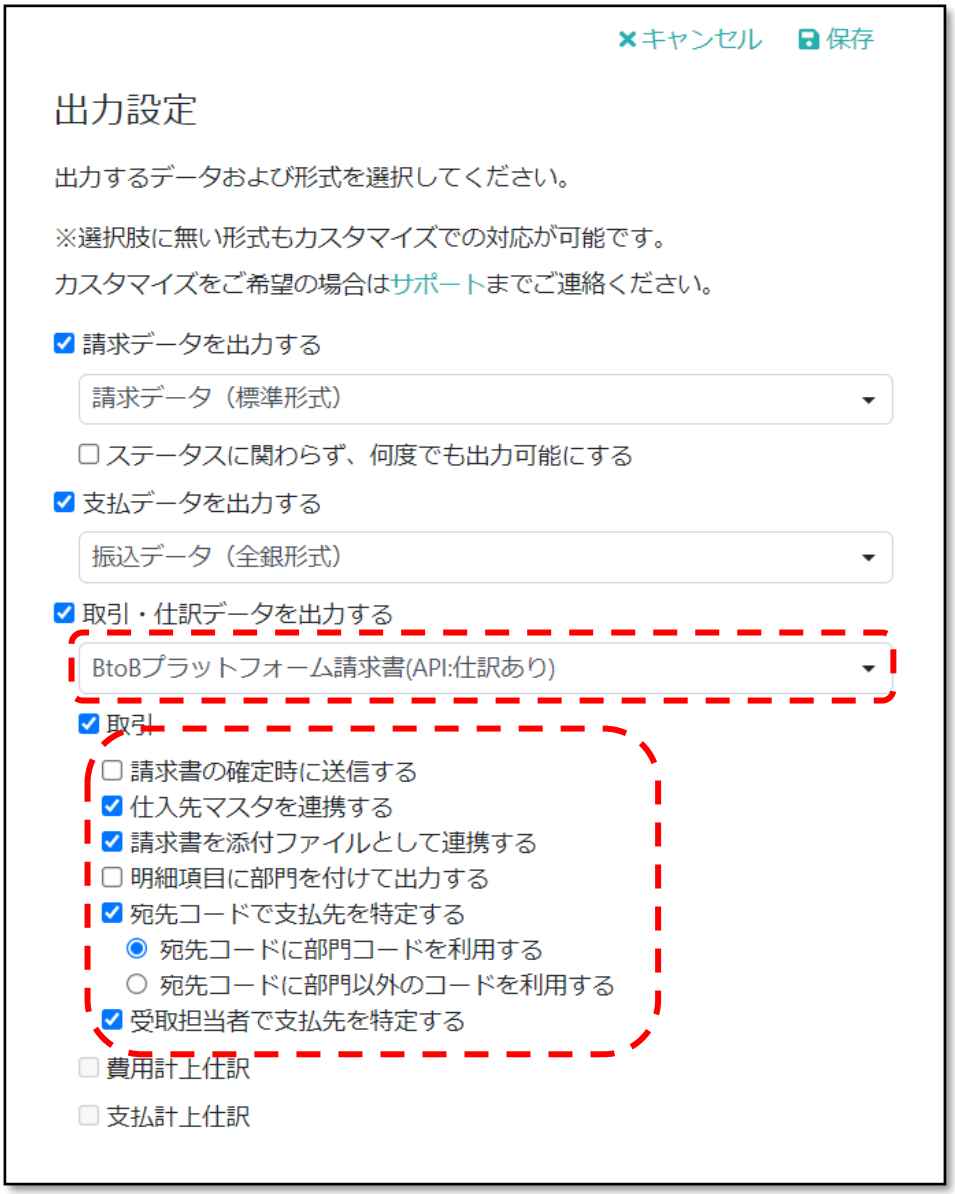
1. 出力設定
2. BtoB プラットフォーム請求書 API 設定
3. BtoB プラットフォーム請求書からのマスタ連携
4. アップロード設定
5. 支払予定日の自動計算設定
6. デフォルト仕訳設定

● 出力設定

invox から BtoB プラットフォーム請求書への請求書データ連携に関する設定を行います。

出力設定は[設定] - [サービス] - [出力設定]から行ってください。

CONFIDENCIAL



設定する内容は次の通りです。

■ 連携方法

BtoB プラットフォーム請求書(API:仕訳あり)／BtoB プラットフォーム請求書(API:仕訳なし)のいずれかを設定します。

どちらを設定するかにより、invox の請求書画面の請求明細欄の入力形式が変わります。

「BtoB プラットフォーム請求書(API:仕訳あり)」を設定した場合、BtoB プラットフォーム請求書に仕訳情報が連携されます。

■ 請求書の確定時に送信する

invox から BtoB プラットフォーム請求書への請求書データの連携タイミングを設定します。

CONFIDENCIAL

「請求書の確定時に送信する」が ON の場合、invox で請求書を確定した際に連携されます。

OFF の場合、出力メニューから「BtoB プラットフォーム請求書へ送信」を実行すると連携されます。

■ 仕入先マスタを連携する

invox から BtoB プラットフォーム請求書への仕入先マスタ連携を行う場合は ON にします。

■ 請求書を添付ファイルとして連携する

invox から BtoB プラットフォーム請求書への請求書データの連携時に、invox にアップロードされている請求書ファイルを添付ファイルとして連携するかを設定します。

ON の場合は添付ファイルとして連携され、OFF の場合は連携されません。

■ 明細項目に部門を付けて出力する

invox の請求書の請求明細欄の明細項目の内容に部門名を付加して、BtoB プラットフォーム請求書の明細情報の明細項目に連携することができます。

（例）

[invox の請求明細欄の入力内容]

部門名：経理部

明細項目：本社ビル

[BtoB プラットフォーム請求書の明細情報の明細項目に連携される内容]

経理部 本社ビル

※部門名の「経理部」が先頭に付加されています。

■ 宛先コードで支払先を特定する

前述の宛先コードで支払先を特定する運用を行う場合に ON にします。

■ 受取担当者で支払先を特定する

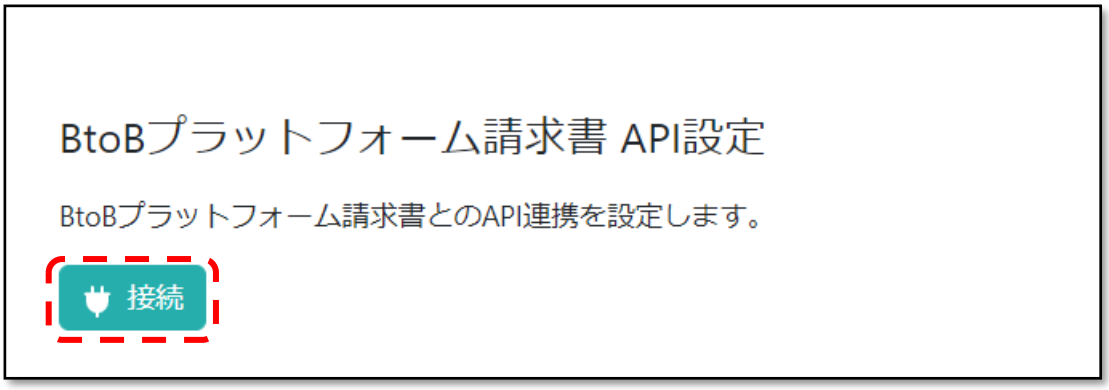
前述の受取担当者で払い先を特定する運用を行う場合に ON にします。

● BtoB プラットフォーム請求書 API 設定

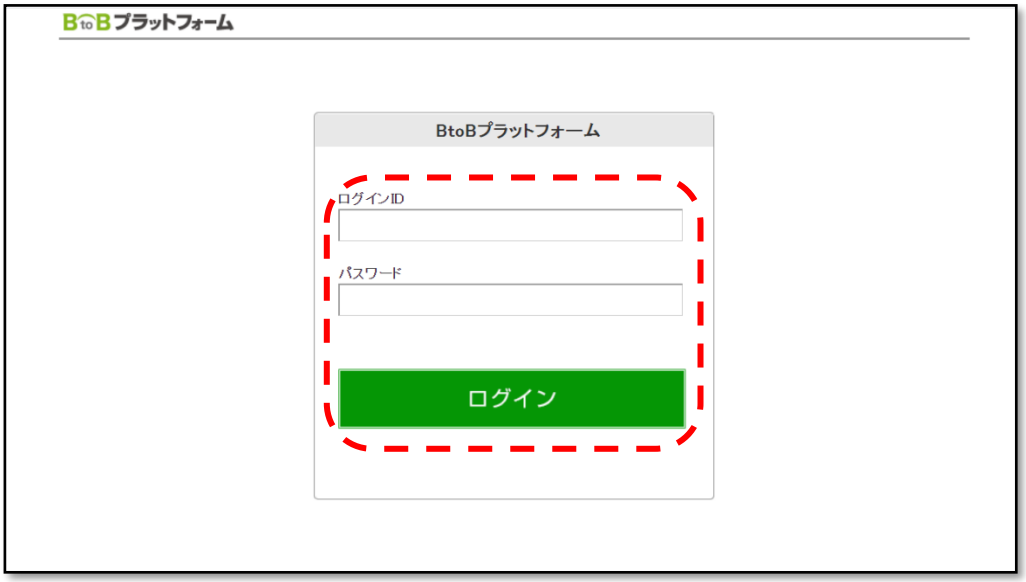
invox と BtoB プラットフォーム請求書とで API 連携を行うための設定を行います。

[設定] - [サービス] - [BtoB プラットフォーム請求書 API 設定]を開き、「接続」をクリックします。

CONFIDENCIAL



BtoB プラットフォーム請求書のログイン画面が開くので、お客様の BtoB プラットフォーム請求書でのログイン ID とパスワードを入力し、ログインをクリックします。

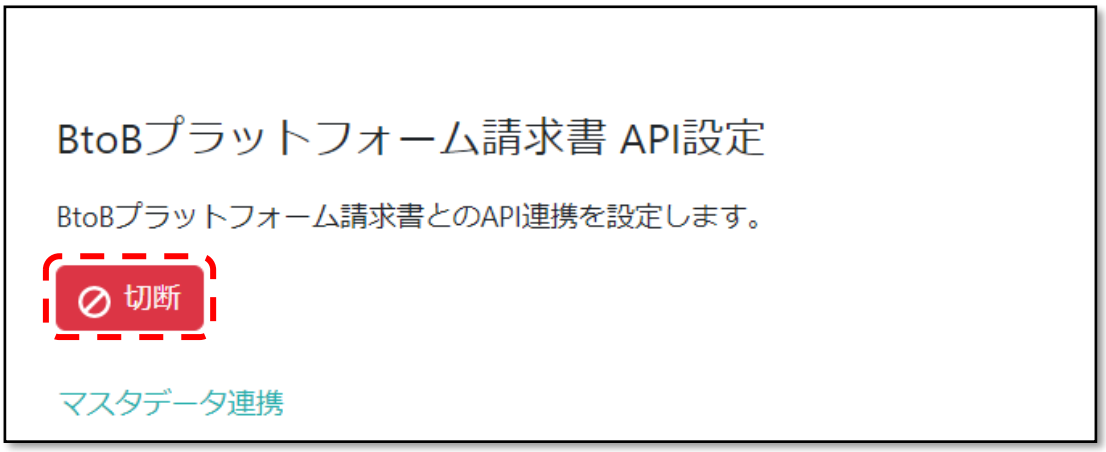


利用規約、個人情報法保護方針を確認のうえ、「同意する」をクリックします。

CONFIDENCIAL

BtoB プラットフォーム請求書 API 設定画面に「切断」が表示されれば、設定完了です。

この設定は invox で API 連携を利用するユーザごとに行う必要はなく、会社全体で 1 回のみ行います。

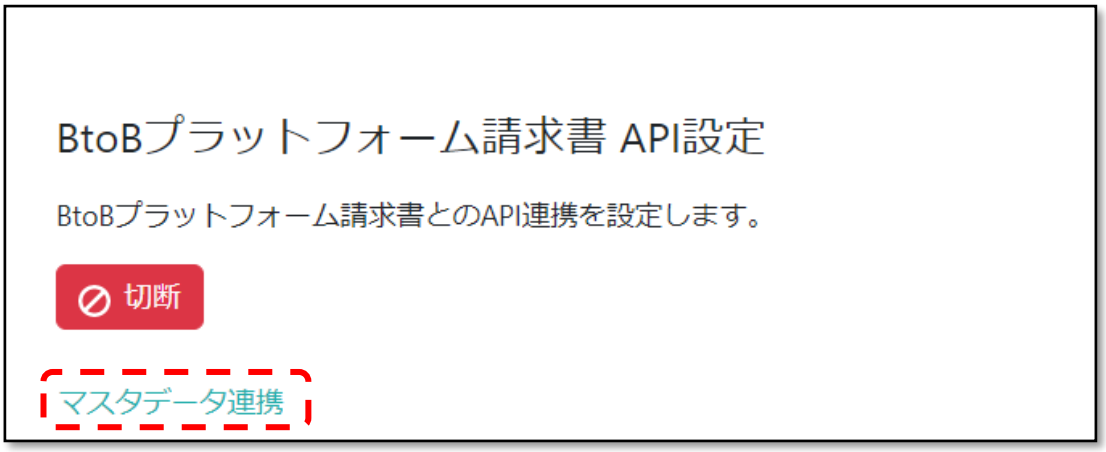


● BtoB プラットフォーム請求書からのマスタ連携

BtoB プラットフォーム請求書に登録されている支払先、部門、勘定科目、補助科目を invox に連携します。

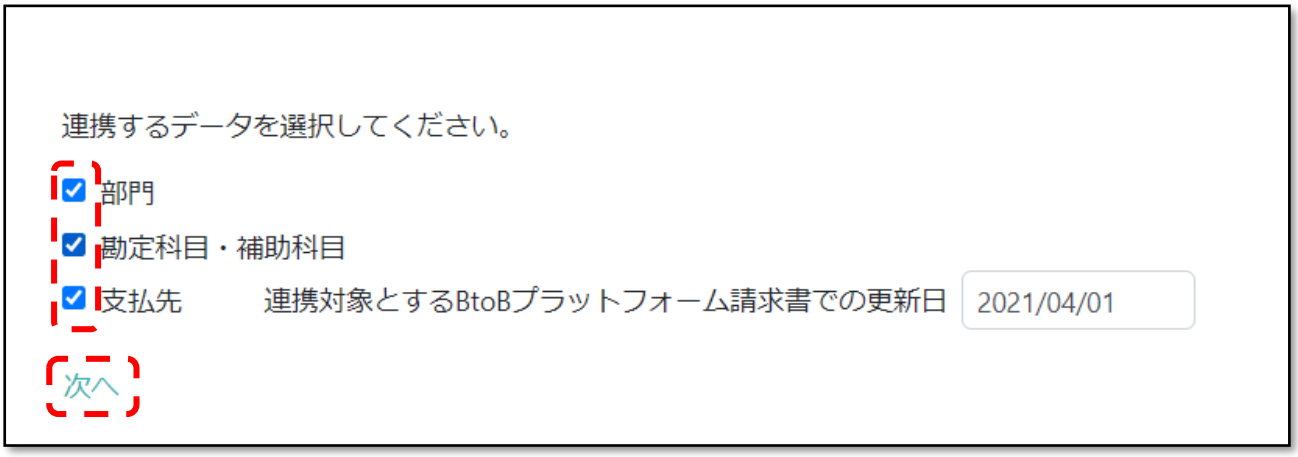
[設定] - [サービス] - [BtoB プラットフォーム請求書 API 設定]を開き、「マスタデータ連携」をクリックします。

接続を行わないと「マスタデータ連携」が表示されないのでご注意ください。



次の画面で連携対象のデータを選択し、「次へ」をクリックします。

CONFIDENCIAL



支払先は、連携対象とする BtoB プラットフォーム請求書での更新日を入力し、「次へ」をクリックします。

入力した日付以降に BtoB プラットフォーム請求書で登録・変更された支払先が連携対象となります。

招待済の支払先のみが連携対象となります。また、つながっている支払先・つながっていない支払先のどちらも連携対象となります。

部門と勘定科目・補助科目は更新日の指定ができないため、BtoB プラットフォーム請求書に登録されている全てのマスタが連携対象となります。

次の画面で連携対象のデータが表示されるので、内容を確認して「インポート実行」をクリックします。

選択したデータの確認画面が順々に表示されます。

● アップロード設定

[アップロード]を開き、「設定」でアップロード設定画面を開きます。

アップロード設定画面の「追加」からアップロード設定を追加します。

CONFIDENCIAL

● 支払予定日の自動計算設定

支払予定日設定を行って頂くと、いままで都度、支払期限や請求日、到着日から判断していた業務が自動化され、支払タイミングのコントロールもやりやすくなりますので、まずは支払予定日の計算ルールを設定してください。

支払予定日設定では「請求日」、「支払期限」、「取込日」を基準に支払予定日の計算ルールを設定します。支払予定日の設定は[設定] - [サービス] - [支払予定日設定]から行ってください。

<u>設定例：支払期限の記載があれば支払期限を利用し、支払期限の記載が無い場合は取込日から当月末か翌月末を判断する場合</u>

条件１：支払期限があれば支払期限を支払予定日とする（標準設定）

条件２：取込日が 1 日～10 日の場合は支払予定日を当月月末にする

条件３：取込日が 11 日～月末日の場合は支払予定日を翌月月末にする

※請求日や支払期限の記載が無い請求書のも多く存在しますので、全ての請求データに自動で支払予定日を設定したい場合は「取込日」や「取込日（営業日）」を基準にしてください。

CONFIDENCIAL

● デフォルト仕訳設定

この設定は、仕訳連携ありでご利用のお客様のみ行ってください。

invox では、「仕訳辞書」をもとに仕訳を自動生成します。（仕訳辞書については「スタートガイド 取引・仕訳データ生成編」をご覧ください）

仕訳辞書が登録されていない場合のデフォルトの仕訳内容を「デフォルト仕訳設定」で設定することができます。デフォルト仕訳設定は[設定] - [サービス] - [デフォルト仕訳設定（費用計上）]から行ってください。

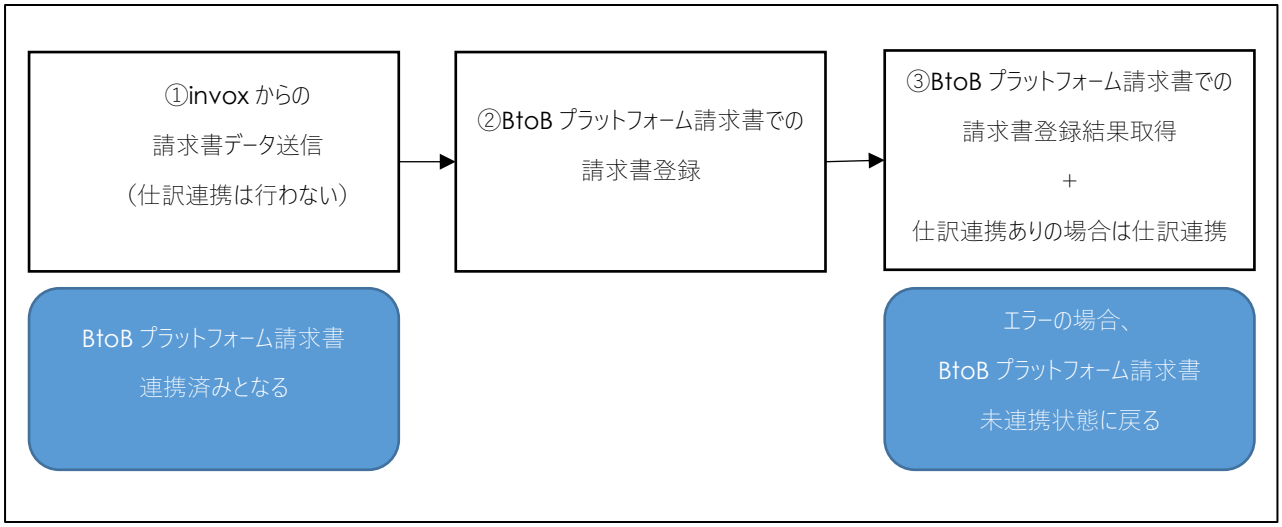
設定方法は「スタートガイド 取引・仕訳データ生成編」をご覧ください。

CONFIDENCIAL

4. BtoB プラットフォーム請求書への請求書データの連携

確認済みの請求書データを invox から BtoB プラットフォーム請求書に連携します。

請求書データの連携は次の流れで行われます。



①から③までに数分かかります。

③で BtoB プラットフォーム請求書からエラーが返った場合、エラー内容が invox の請求書画面に表示され、未連携状態に戻ります。エラー原因を解消し、再度連携を行ってください。

仕訳連携は②で請求書登録が成功した後の③で実行されます。仕訳連携が行われるまでは BtoB プラットフォーム請求書には仕訳情報は反映されていません。

● invox からの請求書データの送信

■ 出力メニューからの送信

出力設定で「請求書の確定時に送信する」が OFF の場合、出力メニューから送信します。

[出力]-[BtoB プラットフォーム請求書(API:仕訳なし)]から「BtoB プラットフォーム請求書へ送信」をクリックして請求データを送信します。

CONFIDENCIAL

■ 請求書の確定時に送信

出力設定で「請求書の確定時に送信する」が ON の場合、請求書の確定時に自動で送信されます。

● 出力履歴の削除

一度 BtoB プラットフォーム請求書に連携した請求書は、確定取消を行えず、変更することができません。

変更が必要な場合、BtoB プラットフォーム請求書への連携の履歴を削除してから確定取消を行う必要があります。

連携の履歴を削除するには、[出力]-[履歴]を開き、「出力データ種別」に「BtoB プラットフォーム請求書(API:仕訳あり)」または「BtoB プラットフォーム請求書(API:仕訳なし)」を指定します。

検索された出力履歴をクリックすると開く画面で、「削除」を実行すると履歴が削除され、再送信が可能になります。

ただし、同一の請求書のデータが BtoB プラットフォーム請求書に重複することになるため、BtoB プラットフォーム請求書で修正前の請求書を削除する必要があります。

CONFIDENCIAL

5. BtoB プラットフォーム請求書への仕入先マスタの連携

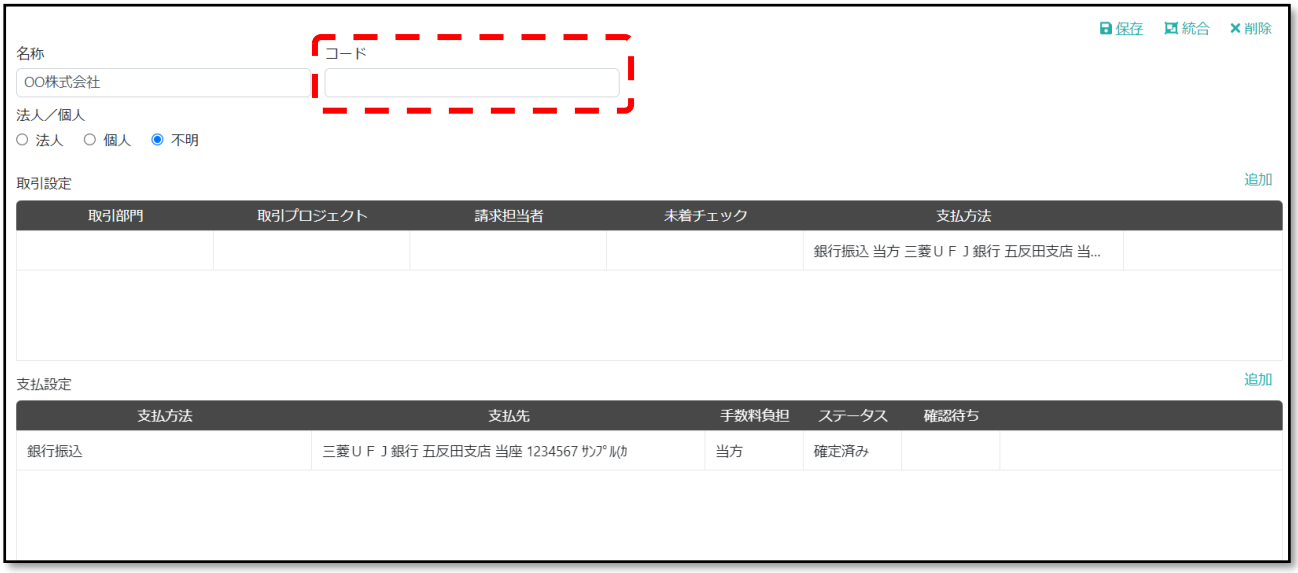
Invox に新規に登録された仕入先マスタを、BtoB プラットフォーム請求書の支払先マスタに連携します。

invox の仕入先マスタ画面でコードが未設定の仕入先に対して、コードを設定して保存を実行すると、連携が実行されます。

仕入先マスタに存在しない請求元からの請求書がデータ化された際に、invox の仕入先マスタが自動登録されます。

この場合、コードがブランクで登録されます。

登録された仕入先マスタに対してコードを入力して保存を行うと、BtoB プラットフォーム請求書への連携が行われます。



CONFIDENCIAL

6. 問題への対処

- ヘルプページ「連携時のエラーへの対処（BtoB プラットフォーム請求書）」をご参照ください。

7. 特別導入サポートパック

通常 198,000 円～の導入サポートパック※を、BtoB プラットフォーム請求書連携ご利用の方向けに特別価格で提供しています。

BtoB プラットフォーム請求書連携 特別導入サポートパック

サポート内容	運用のご相談 勘定科目、税区分、仕入先などのマスタデータのセットアップ 社内での説明会対応（1 回まで） その他、運用サポート ※全てオンラインでのサポートとさせていただきます。
期間	3 ヵ月
価格（税抜）	98,000 円

※通常の導入サポートパックの内容

サポート内容	運用のご相談 勘定科目、税区分、仕入先などのマスタデータのセットアップ 初期仕訳辞書の作成（自動生成が可能なもの） 仕訳辞書設定のサポート 社内での説明会対応（1 回まで） その他、運用サポート ※全てオンラインでのサポートとさせていただきます。
期間	3 ヵ月
価格（税抜）	198,000 円～ ※1 ヶ月当たりの請求書 100 件まで。 追加 100 件ごとに+10,000 円。

CONFIDENCIAL

最後までご覧いただきありがとうございます。

ご質問やご要望等ありましたら

チャットもしくは support@invox.jp までメールにてご連絡ください。

CONFIDENCIAL